

## 下中山地区会議の近況報告

『友好館を拠点にまちづくり』



▲活用が検討されている友好館



▲友好館のロビー

「まちづくり下中山地区会議では、昨年7月25日から第Ⅱ期目がスタートしました。会長には中田伸一さん(栄田)、副会長は山田政雄さん(ナスパルタウン)と野波昇さん(下甲)が選出されました。まだまだ会議の出席者は少ない状況ですが、まずはこれを解消しよう」と会長・副会長みずから、出席されていない委員さんのご自宅へ伺い、地域づくりの重要性を説明したり、会議出席の依頼をしたりするなど、まちづくりの機運を盛り上げようと懸命に活動されています。

現在、この方々を中心に下中山地区

の将来について、活発な意見交換がなされています。会議に出席されている委員さんの間では、「将来は下中山地区も他地区と同じように少子高齢化が進み、まちづくりを集落単位で取り組むには、困難なことが多くなってくる」と予想される。このような状況に陥る前に下中山地区単位で構成される組織を設立し、さまざまな地域の課題を解決するシステムを構築すること、また、なかやま温泉ナスパルや雨天でもゲートボールなどが楽しめる屋根付きの多目的広場をはじめ、さまざまな施設が隣接する、町のセミナーハウス『友好館』をこの地区の拠点としてはどうか」という提案がされています。

## 各地区会議の動き

### 名和地区会議がスタート!

～『名和保育所を地域の交流拠点に活用』～

まちづくり名和地区会議は、昨年11月に議論を再開しました。会議では「商店がなくなり淋しい」、「買い物が不便になった」、「住民が交流できる場所がほしい」、「サッカーを通じた子どもが交流するための場所がほしい」といった意見が出されました。そのため、保育所の統合により平成25年度(2013)で廃園となる予定の名和保育所を地区住民の交流拠点として活用することが検討されています。

まずは、名和地区の住民の皆さんに広く意見やアイデアをいただくため、名和保育所活用及び名和地区まちづくりに関するアンケートが実施される予定です。また、まちづくり地区会議の活動を広く住民さんに知っていただこうと、会議の概要を各集落で回覧することになりました。



▲活用が検討されている名和保育所